本町公民館オペラ講座発表会

W･A モーツァルト 作曲

Le Nozze di Figaro

フィガロの結婚

2025 年　1 月 12 日(日)

開演:午後 1 時　会場:本町公民館多目的ホール

オペラは「ドラマと音楽が融合した総合芸術」。その素晴らしさに魅了された市民が、モーツァルトの傑作「フィガロの結婚」の上演に向けて昨年 8 月から秋山徹・林菜月両氏を講師に指導を受けてきました。

本日は、学んできた成果を披露しますので、受講生の熱意と熱演をお楽しみください。

【キャスト】　指揮・指導：秋山 徹　コレペティトゥア：林 菜月

・アルマヴィーヴァ伯爵	櫻井正継（第１幕）、安藤善克（第２・３・４幕）
・伯爵夫人	尾﨑幸子
・フィガロ	秋山　徹（賛助出演）
・スザンナ	荒井芽生（第１幕）、福田晶子（第２・３幕前半）
	坪川晴美（第３幕後半・４幕）
・ケルビーノ	青山早百合（第１幕）、相原紀子（第２幕前半）
	齊藤百音（第２幕後半）
・バジリオ	深澤勇生（第１幕）、加藤雅彦（第４幕）
・マルチェリーナ	芦川睦美（第１幕）
・花　娘	青山早百合、齊藤百音

【受講生からのメッセージ】

相原紀子　「初めてのオペラです。純粋なケルビーノに挑戦します!!」

青山早百合「ケルビーノに成り切ります!! どうぞ最後までお楽しみください」

芦川睦美　「通常では経験できない体験をさせていただき感謝です。楽しみます」

荒井芽生　「興味のあったオペラに参加でき幸いです♪ スザンナ１号頑張ります」

安藤善克　「これを機に他のオペラも観に来ていただけたら嬉しいです」

尾﨑幸子　「楽しいひと時を過ごしていただけますよう頑張ります」

加藤雅彦　「練習にほとんど出られませんでしたが、上演の一翼を担えるよう頑張ります(^^♪」

齊藤百音　「みんなと創り上げきたこの半年。ケルビーノと花娘の頑張りを温かく見守ってください」

櫻井正継　「この度は貴重な機会をいただけたことに感謝いたします」

坪川晴美　「オペラ講座全員で創り上げた『フィガロ♫』お楽しみに!」

深澤勇生　「歌は好きです❤ 老化防止のためにも頑張って歌います」

福田晶子　「オペラは一人ではできず皆で創るもの。その幸せに感謝!!」

（受講生：五十音順）

【指揮・指導】　秋山　徹（あきやま・とおる）

神奈川県秦野市出身。洗足学園音楽大学卒業後、同大オペラ研究所並びに二期会オペラスタジオに学び、修了時に優秀賞を受賞。日生劇場『魔弾の射手』でオペラ・デビュー後、『エジプトのヘレナ』『魔笛』『蝶々夫人』『カルメン』『ラ・ボエーム』『椿姫』他、数多くのオペラで主要な役柄を演じ好評を博している。また、多くの演奏会でのコンサート・ソリストとしても出演は多彩で、『第九』『ミサ曲』『レクイエム』などで様々なオーケストラと共演。

プロ合唱団員の活動経験を活かした合唱指導とともに幼児音楽に関する作品全般の研究並びに普及指導に取組むなど、幅広い活動を行っている。

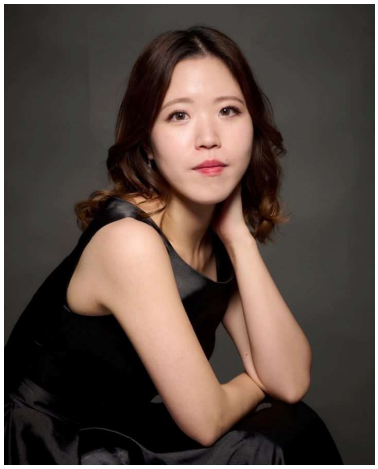
第 27 回イタリア声楽コンコルソ入選。第 24 回ベルヴェデーレ国際声楽コンクール入選。第 6 回日本アンサンブルコンクール第一位。

声楽を近藤允弘氏に師事し、ガブリエルラ・トゥッチ、アントニエッタ・ステッラ、フィオレンツァ・コッソット各氏の指導を受け、舞台演技を鈴木敬介、平尾力哉両氏から学ぶ。

現在、洗足学園音楽大学講師。洗足こども短期大学教授。東京二期会会員。日本カール・レーヴェ協会会員。日本音楽教育実践学会会員

【コレペティトゥア】　林　菜月（はやし・なつき）

神奈川県立弥栄高等学校芸術科音楽専攻卒業、洗足学園音楽大学卒業、同大学院研究科を修了。在学時、ウィーンでの演奏会、オーディション合格者によるピアノ室内楽コンサート vol.23 などに出演。卒業後は声楽伴奏を中心に、器楽伴奏、ソロと幅広く活動しており、2024 年 8 月にヴォーカルコーチ・コレペティトールのウバルド・ファブリのレッスンを受講する。



イタリアで開催されたモンテフェルトロ音楽祭に出演その時の様子は新聞にも掲載された。

第 16 回イタリアコンコルソ MusicArte 上位入賞

河原忠之氏主宰 Gruppo Kappa 第 7、8 期受講生

室内楽を清水将仁に、ソロを江崎昌子、谷川明の各氏に師事する。

洗足学園音楽大学演奏補助要員・ピアノ伴奏員

【フィガロの結婚の一口メモ】　（出典:HP「わかる！オペラ情報館」）

・作　曲　　ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト　１７８５～８６年
・初　演　　１７８６年5月1日　ウィーン、ブルク劇場
・台　本　　ロレンツォ・ダ・ポンテ（イタリア語）
・演　奏　　第１幕４５分、第２幕４５分、第３幕４０分、第４幕４０分
合計約２時間５０分

・あらすじ

<時と場所>　　１８世紀半ば、スペインのセヴィリャ

<登場人物>　　アルマヴィーヴァ伯爵：領主、伯爵夫人：伯爵の妻
フィガロ：伯爵の従者、スザンナ：伯爵家の女中、ケルビーノ：伯爵邸に住む少年
バジリオ：伯爵家の音楽教師、マルチェリーナ：伯爵家の女中頭
バルトロ：伯爵家のお抱え医者　ほか

<第１幕>　セヴィリャのアルマヴィーヴァ伯爵の館。フィガロとスザンナの結婚式当日。フィガロはスザンナから驚きの事実を聞く。主人の伯爵が、バジリオを使い、スザンナを誘惑しているという。フィガロは怒り、伯爵をこらしめる作戦を考える。

<第２幕>　作戦とは、ケルビーノにスザンナの服を着せて、伯爵がスザンナと会おうとした時に、彼を差し向けて驚かせようというもの。事情を知った伯爵夫人の協力のもと、スザンナがケルビーノに女装させ、そこへ伯爵が現れて大混乱。結局、フィガロの作戦は失敗し、その上、フィガロにお金を貸していた女中マルチェリーナがバルトロと一緒にやって来て、「借金を返さないなら、フィガロは私と結婚する約束だったわ」と言い出し、フィガロとスザンナの結婚のゆくえはわからなくなる。

<第３幕>　ところが大変な事実が発覚。捨て子だったフィガロ、実は、マルチェリーナとバルトロの二人の間にできた子供だった。つまり、父母、息子の関係。この３人にスザンナを加えた４人が意気投合。フィガロとスザンナは結婚式を挙げることができた。一方の伯爵は、こりずにスザンナを誘惑しようとして、見かねた伯爵夫人は、自分がスザンナの服を着て、密会の現場に行くことを決心する。

<第４幕>　その夜、屋敷の裏庭。伯爵は、スザンナと秘かに会えるのを楽しみにやってくる。そして、スザンナの服を着た伯爵夫人をスザンナと勘違いし、甘い言葉をささやく。これで証拠は押さえられた。伯爵夫人は何も知らない伯爵に正体を明かす。スザンナと思って近寄った伯爵は、実はそれが自分の妻だったことを知り驚く。深く反省した伯爵のことを、夫人は温かく許してあげる。

♪　主催・問い合わせ　　本町公民館　☎(84)5100　♪